

2008年1月31日

お客様へ

双日食料株式会社

代表取締役社長

武田 浩文



「中国産（天洋食品）冷凍餃子の食中毒発生」の件について

中国産冷凍餃子の件につきまして、ご説明させていただきます。

まずは、問題となっています日生協（日本生活協同組合連合会）およびジェイティフーズ社冷凍食品をご購入されたお客様および関係各位にはご心配・ご迷惑をおかけしていますことお詫び申し上げます。

本商品は、中国（河北省）の天洋食品にてジェイティフーズ社による商品企画で、三社協力のもと試作・生産を行い、当社が天洋食品より買い付け、日本での保税転売を行っており、現在、23アイテムを扱っております。当社と天洋食品との取引は1996年秋より行っていますが、ジェイティフーズ社向けについては、1999年より業務用半製品から開始し、2001年7月製造より餃子の扱いも行っています。

天洋食品は、約80社ある中国における日本国農林水産省偶蹄類加熱加工品認定工場のひとつであり、取り扱い数量で年間約4,500トンの中堅レベルの工場であり、当社は2007年度（1月～12月）のジェイティフーズ社向けの天洋食品製品取り扱いは、餃子、ロールキャベツ等23アイテムで、合計約1,943トンとなっております。

当社では、食品の安全確保を重視し、最低一年に一度は天洋食品の工場を品質保証室スタッフにより検査をおこない、改善に努めています。今回問題となっております製品につきましても、毎年、第三者検定機関による原料での残留農薬検査を天洋食品に義務付けしています。『メタミドホス』についてもニラ・ねぎ等主原料において“未検出”の検査結果を入手しています。今回の重大な健康影響が発生したことには驚くとともに、急ぎ原因究明の必要性を強く認識いたす所存です。

上記事情をふまえ、当社は、1月30日に対策本部を設置し、品質保証室の責任者である小林室長を現地の天洋食品に派遣し、原因究明を進めることといたしました。当社といたしましては、今後とも品質管理体制を一層強化してまいりますので、引き続きのご理解とご協力を賜りますよう、何卒、よろしくお願い申し上げます。

以上